

- 「道徳科」の考え方がわかる！
- 授業のやり方がわかる！
- 評価文の書き方がわかる！

教科書、指導書を読む前に

いちばんわかりやすい
テキスト



道徳授業の研修にも
おすすめします。

担任必携・評価文例付

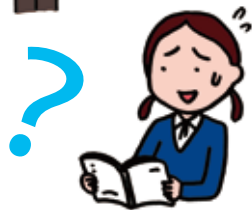
中学校道徳科授業 の 流れとポイント

内容
見本

全国教科用図書卸協同組合◎企画

この1冊ですべて解決！

- ◆担任が教えなくちゃいけないの？
- ◆「考え、議論する道徳」って？
- ◆教師の価値観を押しつけずに指導するには？
- ◆教えなければいけない価値（内容項目）って？
- ◆教師自身の道徳的価値への理解が微妙……？
- ◆評価はどう書けばいいの？



先生方の疑問・お悩みに応えてつくりました！

✿ さくら社

「特別の教科 道徳」の考え方、授業の方法から 評価文の書き方まで

全部わかる

目次

I 担任が行う「特別の教科 道徳」

内容見本

1. 「特別の教科 道徳」の意味 ③

形式的な授業から解き放とう
求められる道徳科授業とは

基本的な考え方から
わかります。

2. 中学校の授業（教師）特性と道徳授業

中学校教師の特徴
中学校道徳授業の特徴
「考え、議論する道徳」実現のための手立て ④

教科として目指すべき
方向性がわかります。

3. 専科担任の特性と道徳授業 ⑤

① 国語 ② 社会 ③ 数学 ④ 理科 ⑤ 音楽
⑥ 美術 ⑦ 保健体育 ⑧ 技術・家庭 ⑨ 外国語

中学ならではの教師の
得手不得手がわかります。

II 指導法

1. 実際の授業はどうすればいいか

2. 授業の方法（具体的活動内容） ⑥⑦

① 導入（教材文を読む）
② 道徳的価値について考える
③ 道徳的価値について議論する
④ ふりかえり（自我関与）

どの教材でも応用できる
指導法がわかります。

III 授業例

1～3年生の授業 ⑧⑨

A・B・C・D（各視点 指導案付）

授業の流れとポイントが
具体的にわかります。

板書案も掲載しています。

IV 評価

全項目対応評価文例 ⑩⑪

4つの視点・22項目対応

付録○学習指導要領「特別の教科 道徳」

教科書教材を取り上げ方
厳選132本の文例を収録。

1 「特別の教科 道徳」の意味

平成31年度から中学校でも教科としての道徳授業「特別の教科 道徳」がスタートします。

○中学校学習指導要領 (h20.3)	○中学校学習指導要領 (h29.3)
第1章 総則	第1章 総則
第2章 各教科	第2章 各教科
第3章 道徳	第3章 特別の教科 道徳
第4章 総合的な学習の時間	第4章 総合的な学習の時間
第5章 特別活動	第5章 特別活動

道徳科は、「各教科」
に入らない

教員免許や評価の面で
「各教科」とは違う

もちろん今までも「道徳の授業」として1年間に35時間設置されてきました。素晴らしい授業を展開し生徒の道徳性を高めるたくさんの先生方がいらっしゃる一方で様々な問題点が多くありました。その一つは「毎週授業がなされない（量的な問題）」ことですが、道徳科のスタートにより教科書が給与され、教師による道徳科の評価も始まることで授業の実施時数は確保されていくでしょう。あとは個人レベルで他の学習活動等に振り替えることがないよう各学校ですすめていくだけです。教科化は「量的改善の最終手段」と言えるかもしれません。



「考え、議論する道德」の実現のための手立て

① 教材の水準を上げる

教科書には、「考え、議論する道德」にふさわしい教材が求められます。生徒が自分の問題として真剣に考えたいくなる魅力的な教材が必要になります。

さらに主たる教材としての教科書の使用に加え、現場には教材開発の努力が求められています。授業者である教師が「いいな」「これを使いたい」と思える教材で授業をしてこそ生徒にも主体的な学びが期待されるものです。学校全体で良い教材を準備していくことも必要です。



② 生徒がわくわくするような授業展開の工夫

従来の「普及型」もよい一つの展開方法なのですが、授業の流れがそのワンパターンでは生徒が退屈してしまい、つまらない道德授業に陥ってしまう弊害があります。

そこで、例えばこのような構成をしてみてもどうでしょうか。

◇キーワード「驚き」

取り扱う教材の中で一番生徒に気づかせたい所を定め、生徒と教材が感動的に「驚き」を持って出会えるようにします。

◇キーワード「省みる」

自分を「省みる」学びも、展開の後半に置くとは限りません。導入の

③ 専科担任の特性と道德授業

それでは、中学校教師の個性の一助となっている専門教科について、その教科の教師に見られる傾向を、強みと弱みから一般的に述べてみます。これはあくまで、「教科の特性が道德授業に影響を与えるとすれば」という仮定の下に、また、筆者の限られた参観経験から記したものであり、その教科の先生すべてに当てはまるものではありません。

読み物教材に慣れている●国語科教師

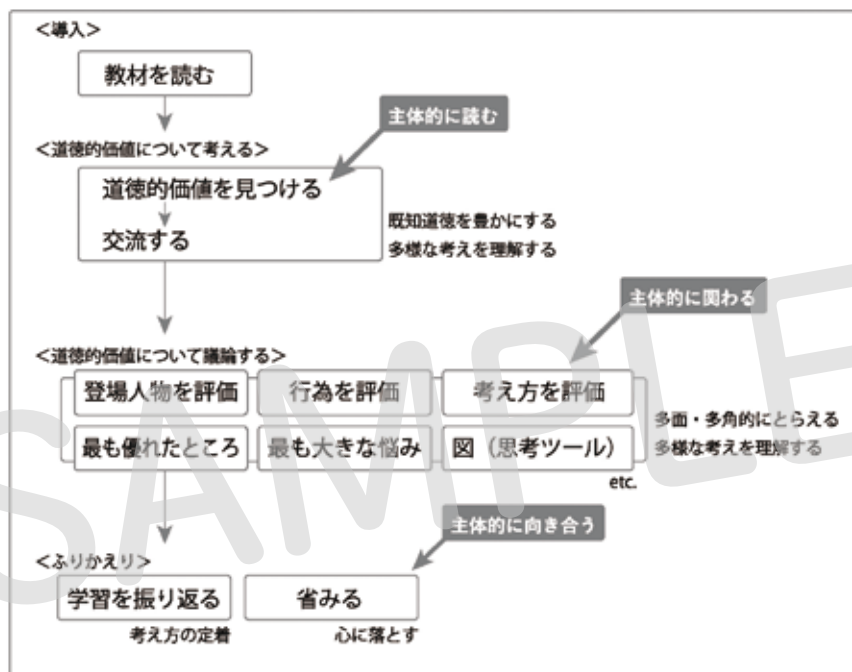
教科書教材のほとんどが読み物教材です。そうである以上、日頃文章を主な教材としている国語教師は教材文を正確に読み取りその中にある道德的価値を見いだしていくことでしょう。教師による範読も上手であり、読み聞かせの力量も高いものであると思います。主題を間違えて読みとってしまうことも少ないで



○	△
<ul style="list-style-type: none"> ●教材文を正確に読み取る。 ●主題を正確に読み取る。 ●教材の範読が上手。 ●副詞や助詞、表現技法に注目して、発問を考える。 ●ことわざや格言にも詳しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ●文章の読み取りにこだわってしまう。

② 授業の方法（具体的活動内容）

具体的な指導法は、以下の通りです。



導入（教材を読む）

教科書の読み物教材を通読し、全体の文意を把握します。読み方に特別な規定はありません。教師が範読しても、生徒に読ませてよいです。黙読でもかまいません。

「道徳読み」の指導を何度か行くと、この教材を読む段階から、道徳的

価値を探しながら読む生徒が現れてきます。極めて主体的に道德の視点をもって取り組む生徒と言えます。このような生徒が現れるのは、それまでの道德の学習が生徒の中に浸透し蓄積していった一つの証です。

したがって、授業回数を重ねるに従い、初めての読みから「道德読み」を始めることも可能となってきます。

道德的価値について考える

① 道德的価値を見つける（「道德読み」）

自分から主体的に、教材文から道德的価値を見つけ出すように読む学習です。生徒たちは既に何かしらの道德的知識や価値観を持っています。したがって、教材文を読めば、そこに自然と道德的価値を感じたり、頭を使って見つけ出したりします。しかしながら、その時点ではまだ感覚的で不明瞭な状態です。そこで、それらを言葉に書き表すことで明確にし、ひいては自覚的にしていくのがこの学習です。

ここで行うことは、次の2つです。

- (1) 「ここに道德的価値があるな」と思えるところに線を引く。
- (2) その脇に、どんな道德的価値が言葉で書く。

道德的価値を見つける時には、頭に2つの観点を持つようにすると見つけやすくなります。1つは正しさを見つける正義の観点。もう1つは悪を見つける悪退治観点です。どちらの観点でも、教材を読むときの生徒たちは、正義の側に立って教材を読みます。

道德読みをすると、生徒たちは教材文に設定されている内容項目とは

1年

A

自分の行動に関する 道徳を見つけよう

◎教材名 裏庭でのできごと（出来事）

掲載教科書

東書

学図

教出

光村

日文

学研

あか
つき

日科

(2年)

◎教材のあらすじ／概要

ある学校の昼休み、大輔・健二・雄一は裏庭でサッカーを始める。そこでひなを助けるため、ガラスを割ってしまう。雄一はすぐ先生へ報告しに行く。だが大輔と健二は、雄一が報告に行っている間にガラスをもう1枚割ってしまう。2人は出来事を先生に報告する際、雄一が割ったことにして、責任を逃れてしまう。

A-1（自主、自律、自由と責任）

■教材名：「裏庭でのできごと」

■本時のねらい：誠実で責任ある行動の大切さに気づき、自らの生活において責任ある行動ができているかどうか省みる。

展開

時配	主な活動	指導上の留意点
10分	1. 導入 めあてを確認する。 学習の方法を確認する。 教材を読む。	<ul style="list-style-type: none"> 今回の授業では、教材から自分の行動に関する「良い道徳」、「悪い道徳」を探すことを伝える。 教師が全体に範読する。
15分	2. 教材から道徳を考える (1) 道徳的諸価値を見つける (2) 交流する	<ul style="list-style-type: none"> 「良い道徳」には赤で、「悪い道徳」には黒で線を引かせ、線を引いた部分を短い言葉に言い換えさせる。

全体に対して、線を引いた場所
 と言い換えた言葉を発表する。
 自分が線を引いていない場所が
 あった場合は、その場所に線を
 引く。

- ・生徒が発表した場所のページ数、
 行数と言い換えた言葉を板書する。
- ・多くの生徒が参加できるように、
 同じ場所に線を引いた生徒がない
 か聞き、言い換えた言葉を発表さ
 せる。
- ・雄一がすぐに報告をしに行く場面、
 健二がガラスを割った場面が出な
 い場合には、教師から提示する。

- 15分
3. 道徳的諸価値について議論す
 る
- (1) 健二の行動について評価
 する
- (2) 全体に評価と理由を発表
 する

- ・健二の行動に対して、「A」か「C」
 かで評価をつけさせる。
- ・評価内容と理由を発表させる。
- ・他の人の評価を聞き、評価が変
 わった場合には、変えてもよいこ
 ととする。

- 10分
4. ふりかえり
- (1) 授業を振り返る
- (2) 自分事として省みる
- 学校生活や家庭生活における自分
 の行動に対して、責任ある行動が
 できているかどうかを省みる。

- ・話の流れと責任ある行動について
 のふりかえりを行なう。
- ・今回勉強したことから、自分も責
 任を人に転嫁するようなことはな
 かったか、省みて記述させる。

〈板書例〉

めあて
 人物の評価を行い、
 自分の生活を省みよう！

1. 道徳を見つける
 「裏庭でやろうぜ。」↓ルール違反
 「先生に報告してやるよ。」↓正直
 「どうも、すみませんでした。」
 ↓誠実・反省

2. 人物の評価
 「ああ……。」↓責任転嫁
 「ぼく、先生に言いに行こうと思っ
 んだ。」↓正直・誠実
 「俺を出し抜いて先生のところにな
 んか行くなよ。」↓不正直

3. 自分の生活を省みよう！

雄一	大輔	健二
A C A C	A or C	A or C
18 1 0 26	6 1 17	6 1 17
正直・報告 流されない	正直に言おうと反省 しているから	正直に言っていない

A

主として自分自身に関すること

自己のあり方を自分自身との関わりで捉え、
望ましい自己の形成を図ることに関するもの

自主、自律、自由と責任

(1) 自律の精神を重んじ、自主的に考え、判断し、誠実に実行してその結果に責任をもつこと。

「裏庭での出来事」

◎自分の過ちを素直に認めることの大切さはそれまでもわかっていましたが、さらに、その過ちに対してどうすることが正しいのかを自分で判断して行動することが、責任を持つことだということに気づき、実践への意欲を高めることができました。

「スイッチ」

◎キャプテンを任せられ、練習内容をどうするか悩む主人公について話し合い、自分の思ったようにやればいいという意見や、責任を持つべきだという意見などに真剣に耳を傾け、自分で考えて自分で決断するということについて深く考えていました。

「ネット将棋」

◎負けを認めるのが嫌で、きちんとした挨拶ができない主人公の姿に自分を重ねて考え、自分にも同じようなことがあったことに気づき、素直な気持ちで望ましい行動がとれるようになりたいという考えを発表することができました。

「カラカラカラ」

◎電車内の空き缶を片付けなかったことを後悔する主人公について

NG文例 (こんな評価文はこう直す)



責任をとるということは、自分の過ちを素直に認めた上で、正しい行動を自分で判断して実行することだということに気づき、委員会活動の仕事をうっかり忘れた時に、自分から正直に申し出て翌日仕事をすることができました。



責任をとるということは、自分の過ちを素直に認めた上で、正しい行動を自分で判断して実行することだということに気づき、これからの生活の中で実践していこうという決意を感想に書いて発表することができました。

【解説】 特別の教科道徳（道徳科）では、学習状況と道徳性に係る成長の様子を評価しますが、それはあくまでも道徳科の授業の中での評価です。委員会での活動の様子等は、学校全体で行う道徳教育の評価として、「行動の記録」等で行います。

※この他〈思いに寄り添い〉〈自分事としてとらえ〉〈真摯に考えることが〉〈比較しながら〉〈多角的な思考で〉〈意見を述べることができました〉〈理解を深めることができました〉〈考えることができました（できるようになりました）〉〈しようという意欲をもつことができました〉など「覚えておく」と便利な表現・言い回しも収録！

SAMPLE

担任必携・評価文例付


中学校道徳科授業 の 流れとポイント

全国教科用図書卸協同組合◎企画

A 5 判・並製・136 頁

※本製品は全国教科用図書卸協同組合の企画による専売品です。ご注文は専用注文書をご利用ください。

内容に関するお問合せは下記へ

 **さくら社** 東京都千代田区神田神保町 2-20 ワカヤギビル 507 号 TEL.03-6272-6715 FAX.03-6272-6716